平成28年度決算の概要

長野県立病院機構

1 延患者数の見込み

入院患者数 24万6,683人(前年度比 △6,283人、2.5%の減)

<対前年比(%) 須坂:92.0 駒ヶ根:98.6 阿南:115.1 木曽:99.1 こども:99.4>

外来患者数 40万4,247人(前年度比 △10,533人、2.5%の減)

<対前年比(%) 須坂:95.6 駒ヶ根:96.6 阿南:97.6 木曽:97.2 こども:102.5>

2 損益の見込み

○経常収益 230 億 9, 451 万 2 千円(前年度比 △1 億 2, 746 万円、0.5%の減)

【主な要因】

・須坂病院の産婦人科休止(8月~)等による医業収益の減

△1億3,604万8千円

○経常費用 233 億 5,831 万 1 千円(前年度比 + 1 億 7,291 万 3 千円、0.7%の増)

【主な要因】

・年金の一元化や人事委員会勧告に伴う給与費の増による費用の増 +1億9,176万9千円

◎経常損益 2億6,379万9千円の損失(前年度比 △3億 37万3千円)

2億6,379万9千円の損失(前年度比 △2億9,648万1千円) ◎純損益

(単位:千円) 【経常損益等】

() () () () () () () () () () () () () ((+ \pi \cdot 1 1)	
科目	H28 決算見込	H28 計画	見込一計画	H27 決算	H28-H27	
経常収益(ア)	23, 094, 512	23, 191, 539	△ 97, 027	23, 221, 972	△ 127, 460	
医業収益	16, 710, 140	16, 841, 038	△ 130, 898	16, 846, 188	△ 136, 048	
介護老人保健施設収益	370, 829	386, 936	△ 16, 107	373, 395	△ 2, 567	
看護師養成所収益	19, 744	20, 960	△ 1, 216	14, 548	14, 548 5, 196	
運営費負担金収益	5, 480, 000	5, 480, 000		5, 480, 000	0	
その他経常収益	513, 800	462, 605	51, 195	507, 841	5, 959	
経常費用(イ)	23, 358, 311	23, 179, 615	178, 696	23, 185, 397	172, 913	
医業費用	21, 354, 722	21, 165, 888	188, 834	21, 197, 140	157, 582	
介護老人保健施設費用	442, 311	450, 452	△ 8, 141	434, 171	8, 140	
看護師養成所費用	156, 767	155, 195	1, 572	140, 156	16, 611	
一般管理費	355, 969	357, 523	△ 1,554	296, 052	59, 918	
財務費用(支払利息)	492, 106	493, 182	△ 1,076	538, 337	△ 46, 231	
その他経常費用	556, 436	557, 375	△ 939	579, 541	△ 23, 105	
経常損益(アーイ)	△ 263, 799	11, 924	△ 275, 723	36, 575	△ 300, 373	
臨時損益(ウ)	0	0	0	△ 3,893	3, 893	
当期純損益(ア-イ+ウ)	△ 263, 799	11, 924	△ 275, 723	32, 682	△ 296, 481	

3 病院別損益状況及びH29の主な取組(上段: H28の損益状況、下段: H29の主な取組)

病院名	主 な 内 容
須坂病院	○産婦人科の休止や病棟再編(看護体制:7対1→10対1混合)等により利益幅が縮小
	→ 産科医3名、眼科医1名、循環器内科医1名、呼吸器内科医1名の配置 → 名称:「長野県立信州医療センター」、内視鏡治療拡充(3床→5床)(7月1日)
こころの 医療セン ター駒 _ケ 根	○短期間で再入院が必要となる患者の増などにより損失を計上
	→ 神経内科医1名の配置、児童精神科に係る多職種によるチーム医療の実施→ 連携大学院生1名を採用
阿南病院	○眼科医の常勤化等により利益幅が拡大
	→ 外科医1名配置、総合診療科に信州型総合医1名受け入れ → ICT化による在宅医療と介護の連携(電子カルテと介護情報の共有)
木曽病院	○循環器内科医等の不在により、患者数が減少し平成10年度以来の損失を計上
	→ 循環器内科医等の確保に向けて信州大学と連携→ 坂下病院の診療所化等を踏まえた医療提供体制の検討
こども病 院	○入院患者数の減などにより利益幅が縮小
	→ 小児重症患者受入のためのPICU(小児集中治療室) の増床 (8床→12床) → 泌尿器科医、整形外科医等を拡充し、高度な医療を引き続き提供
共 通	 → 人事給与制度改革や魅力再発見・組織発展プロジェクトの実施 ・業績連動型賞与や独自の給料表等の検討、職員のモチベーション向上 → 経営改善プログラム・中長期ビジョンの策定 ・中長期的な視点を踏まえた、経費や投資額の削減など

【病院別損益】 (単位:千円)

区分	須坂	駒ケ根	阿南	木曽	こども	老健	看護学校	本部	計
経常収益	6,465,556	1,934,035	1,783,312	4,437,820	7,826,665	479,627	132,087	35,410	23,094,512
(前年度比)	98.1%	97.7%	103.9%	94.8%	103.0%	99.5%	105.8%	71.2%	99.5%
経常費用	6,458,408	1,975,141	1,623,226	4,476,410	7,820,282	485,824	158,118	360,902	23,358,311
(前年度比)	99.3%	101.6%	99.4%	96.2%	103.9%	100.9%	111.8%	120.4%	100.7%
経常損益	7,148	△ 41,106	160,086	△ 38,590	6,382	△ 6,196	△ 26,031	△ 325,492	△ 263,799
(前年度差)	△ 84,223	△ 77,466	75,569	△ 63,896	△ 59,191	△ 6,455	△ 9,351	△ 75,360	△ 300,373
純損益	7,148	△ 41,106	160,086	△ 38,590	6,382	△ 6,196	△ 26,031	△ 325,492	△ 263,799
(前年度差)	△ 84,223	△ 77,466	75,569	△ 60,004	△ 59,191	△ 6,455	△ 9,351	△ 75,360	△ 296,481